

R7 生活上のきまり

【制服】

冬服学校指定

【男子】

ブレザー・ネクタイ・ワイシャツ（白）・スラックス・ベルト

※ワイシャツの袖のボタンはきちんととめる。

【女子】

ブレザー・ベスト・リボン・ブラウス（白）

スカートまたはスラックス（ベルト）

※ブラウスのボタンは全てとめ、リボンを付ける。

夏服学校指定

【男女共】

ポロシャツ（ノーネクタイ、ノーリボン）

※男女共に名札はつける。ポロシャツの場合、第1ボタンは外してもよい。女子は夏季期間中のベストは脱ぐ。

— 年 共 通 —

ズボンのすそは、かかとより長くならない。

スカートは膝がすそでかくれるもの。

制服の下に長ジャージをはかない。

【頭髪】

中学生らしく学習に支障のない清潔感のある自然な頭髪で過ごすようにする。パーマ・カール・染色・脱色等はしない。流行に流されることのないようにする。（ソフトモヒカン・ツーブロック・編込みなど）。前髪は目にかからないようにする。

後髪は肩にかからないようにする（肩にかかっている場合は、ゴムでしばり、耳のラインより下でしばる。また後髪は三つ編みにしても良い。）。

前髪・横の髪をたらさないでピンやゴムでとめる。額部や頭部の髪をとめるために大きなピンやゴムは使用しないこと。

※ピンやゴムの色は紺・黒・茶色。

【靴】

白、黒、灰色でひも付き運動靴を使用する。

（靴は体育の授業に支障のないものとする。靴ひも、ソール、舌、舌裏、靴の裏も上記の3色とする。）

※使用できない靴の例

「くるぶしまで覆われている靴」、「底が平らな靴」

【靴下】

白、黒、灰色でくるぶしが完全に覆われるものを使用する。【靴下例】
(ロゴマークは上記の3色以外でも使用できる。)

※ルーズソックス、スニーカーソックス

(くるぶしが完全に覆われない靴下)は使用しない。

※式典の際は、白に限る。ただし、黒タイツ着用時のみ
黒色靴下を可とする。

【防寒着】

セーター・トレーナーは、白・灰・紺・黒・キャメル(無地・ワンポイント可)

マフラー・ネックウォーマーの色については華美でないものとする。

また、大きな形状のものは危険なので使用しない。

本校指定の防寒着(ウインドブレーカー)は室内、授業中は着用しない。

【上履き】

本校指定のものを使用する。

※氏名を必ず入れること。

※清潔にすること、かかとをつぶさないこと。

【ヘルメット及び自転車】

登下校時はヘルメットを必ずかぶり、あごひもは長さを調節ししめる。

普通自転車(普通ハンドル、荷台、立型スタンド、チェーンカバーがある、ブレーキが前輪及び後輪にかかる、前照灯がつく、後部反射材又は尾灯がある、ベル及びカギがついているもの)を使用する。

自転車通学は、許可制とし、警板(番号)を指定の位置につける。

※法令やマナーを守った運転を心掛ける。

※敷地内では自転車に乗らないこと(乗り入れ禁止)。

安全のためにスリーウェイバッグは、荷台にしばるか背負う。肩にかけたり、前かごには入れたりしない。

【カバン】

本校指定のスリーウェイバッグとサブバッグ(スクールバッグ)を基本とする。荷物が入りきれない場合はセカンドバッグも可とする(色は白、黒、紺、灰)。

セカンドバッグは部活動がある日、またスリーウェイバッグとの併用で使用する。

【体育時の服装】

本校指定の運動服（長袖ジャージ、半袖ハーフパンツ）

部活で揃えたものは使用しないこと

夏期・・・半袖、ハーフパンツ、帽子着用可

冬期・・・上下長袖ジャージ

体育館・・・上靴

グラウンド・・・体育の授業に支障のない運動靴

水着・スイムキャップ・・・小学校で使用したものでも使用可能。新規購入の場合は黒・紺色のもの

【その他心掛けておくべきこと】

清潔で中学生らしい身なりを基本とする。

※時と場を考えて挨拶・会釈をし、心ざわしい言動をとる。

※静かに行動することを心がけ、2分前着席をする。

※眉を細くしたり化粧をしたりはしない。リップクリームは、色・匂いのないものを使用すること。日焼け止め・制汗シートを使用する場合は無香料のものとし、場所を考えて使用する。

※バラダは、清掃時・非常時以外は出ない。

※学習に必要なものを持ってこない（マンガ・ゲーム・電子機器等）